

安全+保証



MBM65339001 (1.0)

CE0168!

nexus

目次

1.1 安全上のご注意(必ずお守りください)	1
1.2 取り扱い上のご注意	17
1.3 携帯電話の規格及び特性	25
1.4 製品保証書	32

1.1 安全上のご注意(必ずお守りください)

- ・ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ・ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- ・ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。



この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。



この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

- ・ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。



禁止(してはいけないこと)を示します。



分解してはいけないことを示す記号です。



水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

1.1 安全上のご注意(必ずお守りください)

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。



濡れ手禁止

濡れた手で扱ってははいけないことを示す記号です。



指示

指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。



電源プラグ
を抜く

電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

本機、ACアダプタ、USBケーブルの取り扱いについて(共通)

 **危険**



禁止

高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で充電・使用・放置しないでください。また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所(こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など)においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。

機器の変形・故障や内蔵電池の漏液・発熱、発火、破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

⚠ 危険



禁止

加熱調理機器(電子レンジなど)・高圧容器(圧力釜など)の中に入れたり、電磁調理器(IH調理器)の上に置いたりしないでください。

内蔵電池の漏液、発熱、破裂、発火や、本機・ACアダプタ・USBケーブルの発熱、発煙、発火、故障などの原因となります。



分解禁止

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、内蔵電池の漏液、発熱、破裂、発火などの原因となります。本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象です。



水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。本機が液体に濡れた場合は、製品内部のラベルの色が変わります。この場合、保証の対象外となり有償修理となりますので、ご注意ください。

濡れたまま放置したり、充電すると、発熱、感電、火災、けが、故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

⚠ 警告



禁止

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。

内蔵電池の漏液、発熱、破裂、発火や火災、感電、故障などの原因となります。

1.1 安全上のご注意(必ずお守りください)



禁止

外部接続端子に水やペットの尿などの液体や導電性異物(鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど)を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

ショートによる火災や故障などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもって火災や故障などの原因となります。



指示

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所(ガソリンスタンドなど)では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。

ガスに引火する恐れがあります。プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、今までと異なることに気付いたときは、ただちに次の作業を行ってください。

1. コンセントからACアダプタを持って電源プラグを抜いてください。
2. 本機の電源を切ってください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

⚠ 注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



指示

お子様が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。



指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。



指示

本機を長時間ご使用になる場合や充電中など、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

本体の取り扱いについて

本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

1.1 安全上のご注意(必ずお守りください)

貴重な金属を再利用し、地球環境を守るために、不要になった電池は廃棄せず、最寄の充電式電池リサイクル協力店へお持ち下さい。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

ホームページ: <http://www.jbrc.com>



禁止

火の中に投下しないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけた
りしないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因と
なります。



指示

内蔵電池内部の液体などが目の中に入ったとき
は、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ち
に医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。



禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光さ
せないでください。特に、乳幼児を撮影するとき
は、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらん
だり驚いたりしてけがなどの事故の原因とな
ります。

警告



禁止

本端末内のNanoSIMカードトレイに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。



禁止

有害なレーザー光の照射などを防止するため、本端末を分解しないでください。

分解するなど、指定以外の方法で使用した場合、有害なレーザー光などにさらされる原因となります。



禁止

カメラ使用時は、レーザーオートフォーカスセンサーを直接覗き込まないでください。

CLASS 1	LASER PRODUCT
KLASSE 1	LASER PRODUKT
LUOKAN 1	LASER LAITE
KLASS 1	LASER APPARAT
CLASSE 1	PRODUIT LASER

1.1 安全上のご注意(必ずお守りください)

警告



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。



指示

スピーカーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

警告



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

万一、ディスプレイやカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本機の内部にご注意ください。

ディスプレイやカメラのレンズ部はガラスになっており、破損のときガラスが飛散しにくい構造となっていますが、露出された破損部位を触ると、けがなどの原因となります。

1.1 安全上のご注意(必ずお守りください)

警告



指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

注意



禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。



禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。

! 注意



お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

本製品で使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所		使用材質	表面処理
外装ケース	ディスプレイ	ガラス	AFコーティング.
	フロントケース	PC+GF5%	UT2コーティング.
	リアケース	PC	UTコーティング.
電源キー PC		アルミニウム	Anodizing
音量 PC		アルミニウム	Anodizing
NanoSIMトレイ		PC	UVコーティング.
前面カメラ		ガラス(タッチ体型)	AFコーティング.
カメラレンズ		ガラス	AFコーティング.
フラッシュ		透明PC	-
LDAFセンサー		PC	-
DECO RECEIVE		アルミニウム	Anodizing
DECO SPEAKER		アルミニウム	Anodizing
指紋センサー DECO		アルミニウム	Anodizing

1.1 安全上のご注意(必ずお守りください)

⚠ 注意



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。視力低下の原因となります。



禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

ACアダプタ、USBケーブルの取り扱いについて

⚠ 警告



禁止

USBケーブルが傷んだら使用しないでください。感電、発熱、発火の原因となります。



禁止

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。火災、やけど、感電の原因となります。

警告



禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプタには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントにつないだ状態で外部接続端子をショートさせないでください。また、外部接続端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

USBケーブルを引っ張ったり、無理に曲げたり、巻きつけたりしないでください。また、傷つけたり、加工したり、上に物を載せたり、加熱したり、熱器具に近づけたりしないでください。

感電・発熱・発火の原因となります。



禁止

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、ACアダプタのプラグやUSBケーブルの端子に導電性異物(鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど)が触れないように注意して、確実に差し込んでください。

感電、ショート、火災などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でACアダプタ、USBケーブル、コンセントに触れないでください。

感電や故障などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。

また、海外で充電する場合も、メーカーが指定、もしくは推奨するACアダプタで充電してください。

指定以外の電源・電圧で使用すると火災や故障などの原因となります。

ACアダプタ: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

1.1 安全上のご注意(必ずお守りください)



指示

プラグにほこりがついたときは、ACアダプタを持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布でふき取ってください。

火災の原因となります。



指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

感電、ショート、火災などの原因となります。



指示

ACアダプタをコンセントから抜くときは、ACアダプタを持ってコンセントからプラグを抜いてください。

感電や火災などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

長時間使用しない場合は、ACアダプタを持ってプラグをコンセントから抜いてください。

感電、火災、故障の原因となります。



電源プラグ
を抜く

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちにACアダプタを持ってコンセントからプラグを抜いてください。

感電、火災、故障の原因となります。



電源プラグ
を抜く

お手入れの際は、コンセントから必ずACアダプタを持ってプラグを抜いてください。

感電などの原因となります。

⚠ 注意



充電は安定した場所で行ってください。傾いたところやぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にバイブレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。
熱がこもって火災や故障などの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会)に準ずる。

⚠ 警告



医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- ・ 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本機を持ち込まないでください。
- ・ 病棟内では、本機の電源を切ってください。
- ・ ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本機の電源を切ってください。
- ・ 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- ・ 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

1.1 安全上のご注意(必ずお守りください)



満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本機の電源を切ってください。

電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤操作することがあります。



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本機を22cm以上離して携行および使用してください。

電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤操作することがあります。



自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波の影響で、電子機器の動作に影響を及ぼす恐れがあります。

1.2 取り扱い上のご注意

共通のお願い

改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。

改造された機器は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク」が本製品の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本製品で以下の操作を行うことで確認いただけます。

[設定]→[端末情報]→[規制情報]。

本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。

本端末は64Kデータ通信には対応していません。

雷、稲妻がひどいときは、携帯電話の使用を自制して、電源コードと充電器をコンセントから抜いてください。

落雷により、深刻な障害や火災が発生する恐れがあります。

本機は防水仕様ではありません。

浴室や加湿器のそばといった多湿環境や、雨が降りかかる環境下では使用しないでください。また洗濯機で洗わないでください。故障の原因が水濡れであると判明した場合、保証の対象外となります。

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。

交通事故の原因となります。乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

1.2 取り扱い上のご注意

自動車用のエアバッグ近くに本機を置いたり、ハンズフリーカーキットを設置しないでください。

エアバッグが作動する場合にけがをする恐れがあります。

お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。

- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ペンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

外部接続端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

外部接続端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、外部接続端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には外部接続端子の破損に十分ご注意ください。

エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

本機などに無理な力がかからないように使用してください。

多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。

傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

本機についてのごお願い

NanoSIMカードにラベルやシールがついた状態で本機に取り付けしないでください。

故障の原因となります。

本機に色を塗る場合、外観や画面が毀損されたり、破損する原因となります。

外観の塗料が剥がれたり本機の材質に応じてアレルギー反応がある場合はただちに使用を止め、医師へご相談ください。

製品の故障修理やアップグレード時、やむを得ない場合携帯電話に保存された主な内容は消去される場合もありますので、重要な電話番号などはあらかじめメモしておいてください。データの損失による被害は、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。携帯電話の設定、着信音、SMS/音声メッセージ、キャラクター、写真/動画などが初期化される場合もあります。

ディスプレイの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。

ディスプレイが破損する原因となります。

極端な高温、低温は避けてください。

温度は 5℃～ 35℃、湿度は 45% ～ 85% の範囲でご使用ください。

一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

落としたり、強い衝撃を与えたり、曲げたりしないでください。落としたり、重い物の下敷きにしたり、変な持ち方をして曲げるなど、強い力を加えないでください。

故障、破損の原因となります

USB接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差ししたり、差した状態で引っ張ったりしないでください。

故障、破損の原因となります。

通話中、アプリケーション使用中および充電中など、ご使用状況によっては本機が温かくなることがありますが異常ではありません。そのままご使用ください。

カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。

素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

大切な撮影をするときは、必ず試し撮りをして正しく撮影されることを確認してください。

1.2 取り扱い上のご注意

お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。

撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

販売されている書籍類や撮影の許可されていない文字情報の記録には使用しないでください。

磁気カードなどを本端末に近づけないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

磁石やスピーカー、テレビなどの磁力を有する機器に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。

はじめてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

内蔵電池は消耗品です。

使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。

内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。

極端な高温や低温環境では、内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間も短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。

内蔵電池を保管される場合は、次の点にご注意ください。

- ・ フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
- ・ 電池残量なしの状態(本体の電源が入らない程消費している状態)での保管

内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。

保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。

電気通信事業者の回線設備の整備状況によっては、VoLTE緊急通報機能が、利用できない場合があります。

充電用機器についてのお願い

充電は、適正な周囲温度(5℃～ 35℃)の場所で行ってください。

次のような場所では、充電しないでください。

- ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
- ・ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。

故障の原因となります。

当社指定のACアダプタ、電池パック、ケーブルをお使いください。指定外のACアダプタ、電池パック、ケーブルを使った場合、充電が遅くなったり、場合によっては、電池パックの破裂や本製品の故障の原因になることもあります。指定外のものを使って生じた故障については、保証の対象外となります。

Bluetooth®機能を使用する場合のお願い

本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

1.2 取り扱い上のご注意

周波数帯について

本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

2.4FH1 / DS4 / OF4

2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH/DS/OF：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。

1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

2400MHz～
2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、表紙の「お問い合わせ先」までお問い合わせください。

Wi-Fi(無線LAN)についてのお願い

Wi-Fi(無線LAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fi(無線LAN)について

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数のWi-Fi(無線LAN)のアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 本機のWi-Fi(無線LAN)機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、設定を取得しています。一部の国/地域ではWi-Fi(無線LAN)機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 電気製品、AV・OA機器などの磁気を帯びているところや、電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

2.4GHz 機器使用上の注意事項

本機のWi-Fi(無線LAN)機能の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略します)が運用されています。

1.2 取り扱い上のご注意

1. 本機を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「ほかの無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、ご不明な点につきましては、各店舗もしくはお問い合わせ先までお問い合わせください。

5GHz 帯使用時の注意

5.2GHz帯および5.3GHz帯(W52、W53)の屋外使用は法令により禁止されています。そのため、日本では電波法によって設定メニューから“5GHz”項目を選択しても、実際は2.4GHzに自動的に切り替わりテザリングが動作いたします。

バッテリーとそのお手入れ方法について

- 充電が終わったら充電器の不要な電力消費を避けるため、充電器は必ずコンセントから外してください。
- バッテリーの交換が必要な場合は、最寄りのLG Electronics認定サービス拠点または販売店にお持ちいただき、ご相談ください。
- リチウムイオン電池は、けがの原因となることができ、危険な構成要素です。
- 専門の資格を持たずにバッテリーの交換を行うと、デバイスが損傷する場合があります。

1.3 携帯電話の規格及び特性

携帯電話の規格及び特性		
機器の名称	IMT 移動通信用無線設備の機器	
Bluetooth	使用周波数の範囲	送/受信の周波数：2402 ～ 2480MHz
	周波数の安定度	割当周波数の±50PPM以内
WLAN	使用周波数	送/受信の周波数：2400 ～ 2483.5MHz 5150 ～ 5350, 5470 ～ 5725MHz
	周波数の安定度	割当周波数の±25PPM以内
	送信出力	最大 8mW/MHz
外観(mm)	147 x 72.6 x 7.9 mm	
重量	136g(標準電池を含む)	

- 該当無線設備は、電波干渉の可能性があるので、人命の安全と関連されたサービスはできません。
- No serviceの状態ではWi-Fi 2.4GHzの12～13chと5GHzの使用に制限がある場合があります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種【LG-H791】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するように設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.780W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.555W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/index02.html>

LG Electronicsホームページ(本端末の「仕様」のページをご確認ください)

<http://www.lg.com/jp/mobile-phones/all-phones/index.jsp>

(URLは予告なく変更される場合があります。)

※ 1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※ 2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

携帯電話の使用時に電磁波の影響を軽減する方法について

- ・ 子供は可能なかぎり携帯電話を使用しないことを推奨します。
- ・ 通話するときは、携帯電話を顔から少し離してご使用ください。
- ・ 通話は短くしてください。
- ・ 通話時間が長くなるときは、右耳/左耳を交互にご使用ください。
- ・ 顔に当てて通話するよりもテキストメッセージを利用してください。
- ・ 携帯電話使用時にステレオイアマイクを使用してください。
- ・ 携帯電話のアンテナの受信表示が弱ければ電磁波がより多く発生します。
- ・ 寝る時は、携帯電話を枕元に置かないでください。
- ・ 市販されている携帯電話の電磁波の遮断製品を信用しないでください。

NFCサービスご利用上の注意

NFCについて

- NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。主に、非接触ICカード機能、リーダー／ライター機能、機器間通信機能などがあります。
- NFCを使つての各サービスご利用にあたっては、NFC機能をサポートしている携帯電話へ、サービスのご利用に必要なデータ(以下、NFCデータといいます)を書き込みする場合があります。
- NFC機能を使った各サービスは、サービスプロバイダー(以下、SPといいます)が提供します。各SPの提供する対応サービス(以下、NFCサービスといいます)をご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。NFCサービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。
- SPが提供するNFCサービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

NFCデータの取り扱い等について

- お客さまがNFCサービスをご利用するにあたり、お客さまの携帯電話のデータが書き込み、書き換え並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
- 携帯電話のNFCデータの使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。
- 携帯電話本体の故障等により、NFCデータの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- SPがお客さまに提供するNFCデータのバックアップ、移し替え等の措置(以下、SPバックアップ等といいます)については、SPの定めるサービスの提供条

件によります。NFCサービスのご利用開始前に必ず、当該NFCサービスを提供するSPIに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりNFCデータのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他NFCデータの消失、毀損など、又は第三者の不正利用により生じた損害等、NFCサービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにNFCサービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- ・ 当社は、いかなる場合もNFCデータの再発行や復元、一時的なお預かり、他への移し替え等を行うことはできません。

不正利用について

- ・ お客さまの携帯電話の紛失・盗難等により、NFCデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。NFCデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ 万一、携帯電話の紛失・盗難等があった場合であっても、当社ではNFC機能を停止させることはできません。紛失・盗難等があった場合も対応方法については、各SPIに問合せください。

その他

- ・ NFCサービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまが加入したケータイキャリアのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。
- ・ NFCサービスのご利用開始後に契約名義又は電話番号の変更があった場合、NFCサービスのご利用及びお客さまご自身でNFCデータの削除ができなくなることがあります。

1.3 携帯電話の規格及び特性

- 電池残量がなくなった場合、NFCサービスがご利用いただけません場合があります。
- 機内モードまたは、電波OFFモード設定中は、NFCサービスがご利用いただけません場合があります。

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、地図データ、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- Bluetooth® とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC. の登録商標で、当社はライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

- Wi-Fi® Certifiedとそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- Google および Google ロゴ、Android、Google PlayおよびGoogle Play ロゴ、Play ムービー、Google マップ、Google トーク、Google カレンダー、Google+およびGoogle+ ロゴ、GmailおよびGmail ロゴ、YouTube および YouTube ロゴは、Google, Inc. の商標または登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
- Google、Android、およびNexusは、Google Inc. の商標です。

1.4 製品保証書

有料サービスのご案内

1.故障ではない場合

故障ではない場合、サービスを要求すると、料金が発生するため取扱説明書をお読みください。(修理が不可能な場合は、別途基準に準ずる)

2.消費者の過失で故障した場合

- ・ ユーザーの誤りまたは取り扱い不注意による故障(落下、浸水、衝撃、破損、無理な動作など)
- ・ 当社のサービスの記事と指定パートナーのエンジニアではない人が修理して故障が発生した場合
- ・ 消費者の故意または過失による故障の場合
- ・ 正規以外の部品や付属品の使用による故障や製品破損の場合

3.それ以外の場合

- ・ 天災地変(火災、水害、異常電源など)による故障発生時
- ・ 消耗部品の寿命が尽きた場合(バッテリー、充電器、アンテナ、および各種の付着物など)

商品名	携帯電話	モデル名	LG-H791
お買い上げ年 月日	年 月 日	製造番号	
販売店		保証期間	お買い上げの日から 1年

部品保有期間(4年)以内

部品の保証期間:ACアダプタ、USBケーブル(1年)、バッテリー(6ヶ月)

製品の購入日の確認ができない場合、製造年月日又は輸入日から3ヶ月が経過した日から、品質保証期間を計算します。

- 修理時の交換する部品は、既存の部品と異なる原産地やメーカーの部品が適用されることがあり、新しい部品がない場合もありますが、正常に動作され、機能的に同等な部品が使用されます。製品に使用される部品の一部は、製造した国とは別の国で生産された製品が使用されることがあります。
- 正常な使用状態で発生したパフォーマンスの機能の欠陥による故障に限る。
- 明記されていない事項が生じた場合は日本国の法令に定めるところに従うものとします。

本書は日本国内においてのみ有効であり、再発行いたしませんので、取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

お問い合わせ先番号:0120-011-167

受付時間:平日 午前9:00～午後 6:00

(土日祝日、年末年始および所定の休日を除く)

